

「多摩部の公園」グループ

事業計画書の見直し

西武・多摩部の公園パートナーズ

目 次

Ⅱ. 事業計画

2 人員配置計画等

- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組 23

3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組 25
- (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法 27
- (3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組 29
- (4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案 31
- (5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組 33

4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組 35
- (2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応 37
- (3) 要望やオリンピック・パラリンピック後も見据えた施設補修、施設改良への取組 39
- (4) 丘陵地特性をふまえた植生管理 41

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1) 人材確保と配置の方針 ～トータルマネジメント力と専門力のある人材の配置～

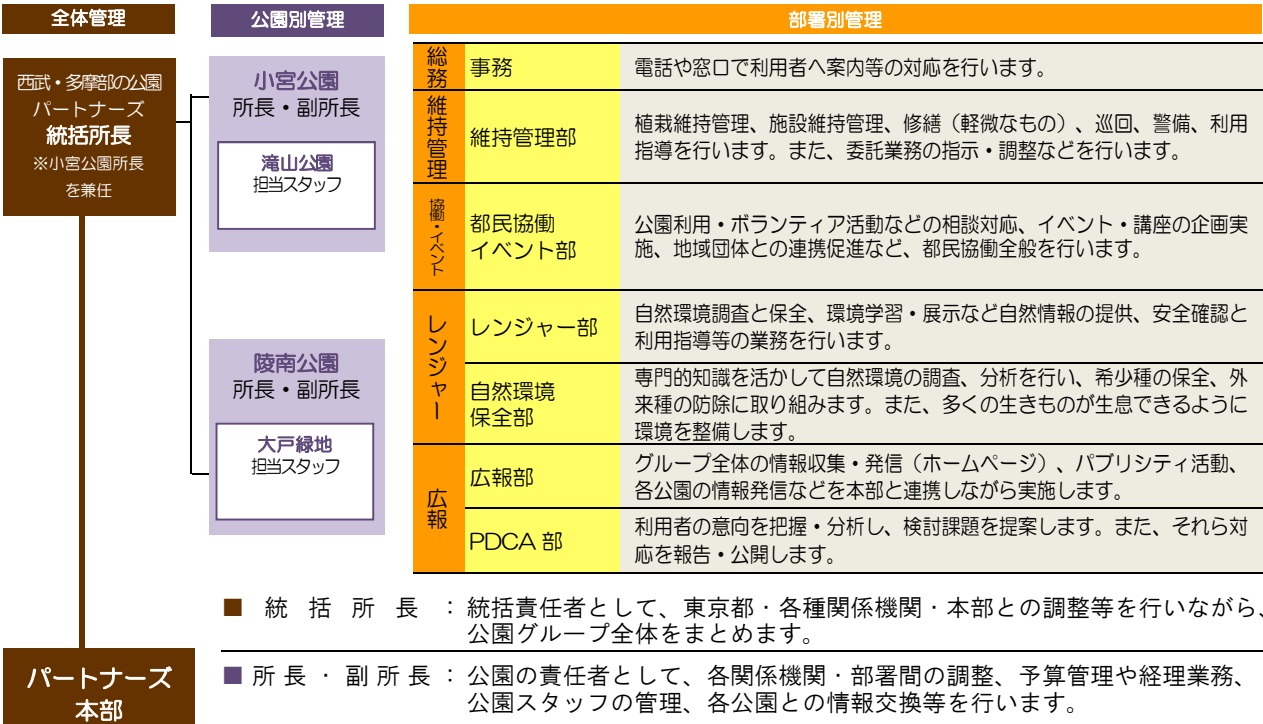
これからの公園管理には、上位計画や各公園のマネジメントプランをベースに、さまざまな利用者ニーズを反映し、時代の変化に対応した公園管理を柔軟に進めていく人材が必要です。そこで私たちは、以下の方針に基づいた人員を各公園に配置します。

- 公平・平等・安全を基本とした公の視点を持ち、公園管理に必要な知識・姿勢を備えた人材
- 公園管理に関わる「人材・資金・情報」をトータルにマネジメントできる経験豊富な人材
- 公園の特性に応じ、「施設維持管理」「自然環境保全」「健康・スポーツ」「協働・イベント」といった多岐にわたる知識・技術を発揮できる「専門力」のある人材
- 「おもてなし」の心を持ち、明るい笑顔での確な接遇と対応ができる人材
- 現在多摩部の公園グループで働いている公園スタッフの継続雇用（希望者と協議）

また地域雇用を促進するほか、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に配慮した職場環境を整え、女性・高齢者・障がい者雇用に積極的に取り組みます。

2) 業務執行体制 ～全体・公園別・部署別の管理体制に基づく配置～

4 公園を効率的かつ効果的に管理運営するため、全ての公園・緑地を統括する「全体管理」、公園毎を正確・確実に管理する「公園別管理」、部署毎に専門性を発揮する「部署別管理」の3つの管理体制によって業務を実施します。



事業計画の作成、予算管理、事業執行の決裁、全体の管理水準・履行状況の確認、東京都・関連機関との協定・委託料等に関する連絡調整、安全・品質・コスト・労務管理、広報、繁忙期・緊急時支援 など

これらの人材配置において、各部署の業務内容に適した**専門的な有資格者**の配置を積極的に進めます。また各構成団体に在籍する有資格者による支援体制、資格取得の奨励などにも取り組みます。

【各構成員に所属する有資格者等の種類】

項目	資格名
公園管理	公園管理運営士
植栽管理・自然・環境保全	樹木医、環境再生医（上級）、技術士（環境部門、建設部門、総合技術監理部門）、自然再生士、植栽基盤診断士、街路樹剪定士、造園修景士、1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、1級管工事施工管理技士、1級造園技能士、造園工事基幹技能者、測量士、一級建築士、監理技術者、環境緑化樹木識別検定、グリーンアドバイザー、2級ビオトープ計画管理士、1級・2級ビオトープ施工管理士、初級園芸福祉士、園芸装飾技能士（2級）、生活園芸士、eco検定、生物分類技能検定（動物部門1・2級）、農業適正指導アドバイザー、農業指導員、チェーンソー作業員、チェーンソー・刈払機安全衛生教育修了者、振動工具取扱作業員、移動式クレーン運転士、フォークリフト運転技能者、車両系建設機械運転技能者、高所作業車運転技能講習受講者、玉掛技能者、研削といし取替試運転作業員等
協働・イベント	社会福祉士、東京都緑のボランティア指導者（緑地保全活動1級）、ボランティアコーディネーション力検定（2・3級）等

次頁に続く

項目	資格名
安全管理、防災	防災士、防火・防災管理者、消防設備士、衛生管理者、安全衛生推進者、応急手当普及員、普通・上級救命技能、赤十字救急法救急員、安全手当指導員、幼児安全法支援員、遊具日常点検講習修了者、危険物取扱主任者（乙種）、第四級アマチュア無線技士、警備員指導責任者 等
環境学習関連	森林インストラクター、ネイチャーゲームリーダー、プロジェクトワイルドエドゥケーター、プロジェクトWETエドゥケーター、自然観察指導員、学芸員、自然体験活動（CONE）指導者 等
その他	福祉住環境コーディネーター2級、食品衛生責任者・管理者、サービス接遇実務検定（1級）、色彩検定（2級）、東京都公害防止管理者、建設業経理事務士（1級）、調理師、教員免許、手話技能検定 等

3) 技術・能力向上の取組 ～スタッフの基礎的技術の習得と専門的技術向上～

定期的な研修（内部・外部研修、講義・ワークショップ等）や視察、OJT等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。特に首都直下地震や少子高齢化への対応に力を入れ、防災・安全管理や接遇をはじめとした様々なタスクをこなせるよう、スタッフ一人ひとりのレベルアップに力を入れます。また、協力会社など、公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有できる機会として、定期的な会議や研修を積極的にを行います。



ユニバーサル研修
（小宮公園）



外来種研修



コンプライアンス研修
（小宮公園）

スタッフ研修	スタッフの基礎技術の習得 （全スタッフ対象）	接遇、個人情報保護、普通救命技能講習（心肺蘇生法および AED）、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修など、基礎技術研修を定期的（各年1回）に実施。構成団体である（一社）防災教育普及協会のノウハウを活かした公園管理者ならではの防災に関する学習会や園内の自然・歴史環境や地域の基本情報についての研修などを実施
	専門的技術向上のための人材育成 （常勤スタッフ対象）	外部講習やシンポジウムへの参加、国内外先進事例の視察、ワークショップ形式でのスキルアップを実施。内容としては、パークマネジメント、維持管理・安全管理、動植物保全・生物多様性、インタープリテーション、ボランティアコーディネーション、広報など（各部署ごとに年1回以上）。各種資格の取得を奨励
	OJTによる人材育成	日常業務の中で円滑かつきめ細やかな研修業務を遂行するため、OJTを実施。特に新人スタッフには、基本的なパソコン操作の研修やパートナーズの管理運営方針の確認などの研修を実施（随時）
情報・技術の共有化等	本部会議	構成団体の責任者が参加（月1回）。履行状況や事業内容の確認、課題への対策、スタッフ能力向上の取組等について話し合う。目標達成のための戦略的な意見交換を行う。
	スタッフミーティング	公園全体のビジョンの確認、日常の管理運営における問題点を話し合うスタッフミーティング（月1回・所長、副所長、各部署責任者）を実施。公園管理所別（年4回以上、管理所ごとに全スタッフ）、部署別（適宜）のミーティングを開催。管理所毎に朝礼、終礼を実施。スタッフの危機管理意識の向上、アイデアの検討によるよりよい公園づくりへの意識啓発を図る。
	協力会社等との情報共有	維持管理を担う協力会社のスタッフも公園管理を担う一員として、自分自身及び利用者への安全管理や接遇に関する情報を、日々の朝礼時及び安全会議（年3回）を設けて共有。普通救命技能研修を、協力会社のほか公園ボランティアにも実施（年1回）
	各種マニュアルの整備	これまでの指定管理実績等から培ったノウハウを踏まえ、独自の各種マニュアルを作成し、協力会社等を含めた全スタッフが習得する。【パートナーズが保有しているマニュアルの種類】安全対策、接遇、ユニバーサルデザイン、個人情報保護、植栽管理、トイレ清掃基準、委託業者入場、災害時初動、規制帯設置、公園便利帳（ポータブルマニュアル）、イベントほか

4) その他の取組

①女性・障がい者・高齢者の雇用推進

- ・令和元年度現在、西武・多摩部の公園パートナーズの公園スタッフの内、約40%の8名が女性であり、女性の活躍の場を作ります。
- ・「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障がい者の積極的雇用に努め、障がい者のインターンシップや、清掃業務を積極的に受け入れます。
- ・高齢者が生きがいを持って働ける環境づくりに努めます。

②ワーク・ライフ・バランスの実現

残業の削減、年休取得の奨励を積極的に推進し、仕事と生活が調和する職場環境を整えます。働き方の見直しによるタイムシフト制の導入等ダイバーシティにも対応します。

③コンクール等への応募によるチャレンジ精神の醸成

都市公園コンクールへの応募や、学会等への論文提出など、公園管理で培った技術や知見を積極的に発信することで、スタッフのチャレンジ精神を育み管理技術の向上につなげます。

3 運営管理計画

(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

1) 地域団体などと連携した指定管理者としての管理運営の方針

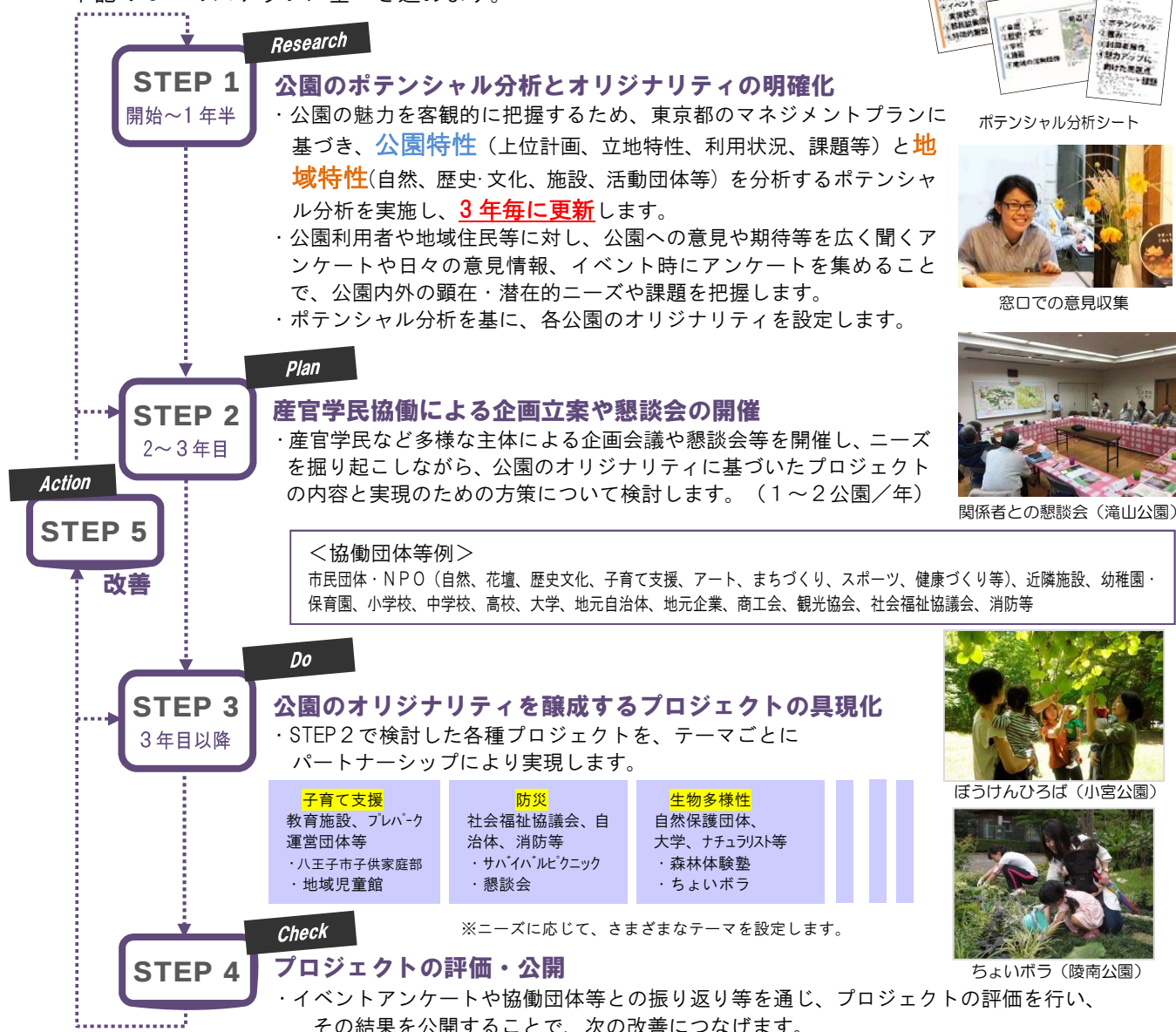
これからの公園の管理運営は、2020年東京におけるオリンピック・パラリンピック開催、少子高齢化時代への突入など、環境の変化や**新たな時代のニーズに応じて柔軟に取組んでいく**必要があります。私たちは、東京都のパークマネジメントプランをベースとして、本グループのタイプの異なる個性的な4つの公園特性と地域特性からなる**公園ポテンシャルを徹底的に分析**し、地域の企業や自治体、学校、市民団体等産官学民との協働により**公園の個性を際立たせオリジナリティを明確にし、プロジェクトとして具現化**していきます。

- ポテンシャルとニーズを徹底分析し、**公園の個性を活かした公園活用の可能性を追求**します。
- 産官学民など多様な主体との**パートナーシップ**によってプロジェクトを具現化します。
- 事業の評価・公開を行い、改善対応することによって**公園や地域の価値を高め**ます。



2) 環境の変化や新たなニーズに応えるための手法

環境の変化や新たなニーズに応える的確なプログラムを実施するため、下記の5つのステップに基づき進めます。



3) 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取り組み

前述の STEP 1～5 を推進するとともに、各公園の特性に応じた下記のプロジェクトに取組み、公園の個性を伸ばし地域活性化へつなげます。

大戸 緑地

環境教育の拠点 “本格的な自然体験ができる森林公園”

地域の財産である公園の豊かな自然を活かし、地元市民団体等との協働で、さまざまな環境学習の場を提供します。

森林管理の体験ボランティア：間伐や玉切りなど、初心者向けのプログラムを行い、森づくりへの興味関心を高めます。

深山アウトドアプログラム：町田市の施設と連携し、トレッキングや野外料理などの滞在型プログラムを実施します。



森林体験塾講座
(大戸緑地)

小宮 公園

里山体験・都民協働の拠点 “四季の移ろいが体感できる里山公園”

里山体験の拠点として雑木林ホールを活用し、多様な主体との協働で、環境教育、環境保全などを実施します。

雑木林ホールの魅力アッププロジェクト：ハンズオン、生きものの展示、キッズスペース等を随時リニューアル、多様なニーズに応えます。

インタープリテーションの充実：地域の教育機関が大切に育ててきた、環境教育の取組等を受け入れ、成果に繋げます。さらに学校等の総合学習の場、拠点機能を高め、地域のニーズに応えます。



雑木林ホールのリニューアル
(小宮公園)

滝山 公園

歴史伝承の拠点 “戦国に思いを馳せる山城公園”

国史跡滝山城址の歴史的遺構や景観を適切に保存し、様々な手法により歴史を後世に伝えます。

山城セルフガイドシステムの充実：「城攻めマップ」や、八王子市の AR アプリなどを活用し、解説板の設置、公園マップ改定などにより、地域と連携したガイドシステムを充実します。

地域と連携した公園紹介、PR、ガイド等の実施：地域主催や、八王子市主催の事業等に参画するなど多様な主体と協働、連携し、公園の歴史と自然の魅力を多くの人に伝える。



歴史と自然のてくてくガイド
(滝山公園)

陵南 公園

健康・スポーツの拠点 “多世代型ヘルシーパーク”

オリンピック・パラリンピック終了後も、健康作りやコミュニティ醸成につなげる「多世代型ヘルシーパーク事業」を推進します。

ヘルシーパークプログラム：ミズノ(株)や地元自治体等との連携により、キッズ&親子スポーツプログラム、健康づくりアクティブシニアプログラム、パークフィットネス、各種スポーツ教室、アスリート招へい等、各年齢層に応じたプログラムを開催します。

ガーデンプログラム：ガーデニング専門家によるコミュニティガーデン講座を開催。またガーデンサポーターの花壇づくりによる景観向上とコミュニティの醸成を進めます。



パークスポーツデー
(陵南公園)

全公園

協働による公園づくりの促進

懇談会の開催

公園利用者や地域住民などが気軽に公園管理について意見交換できる場として、各公園で懇談会を開催します。地域の方々と公園ビジョンを共有し、協働による公園づくりにつなげます。

多様なボランティア機会の創出

来園者、学校、企業、市民団体、外国人など、多様な主体のボランティアニーズを、専門知識を持ったパークコーディネーターがコーディネートします。また既存団体へのヒアリングを実施し、よりよい連携を進めます。

※これらのボランティア活動については、都立公園ボランティアの設置・運営に関する要綱に基づいて調整・指導します



懇談会の開催
(陵南公園)

小宮公園 陵南公園

住民と共に学び、高める地域防災力

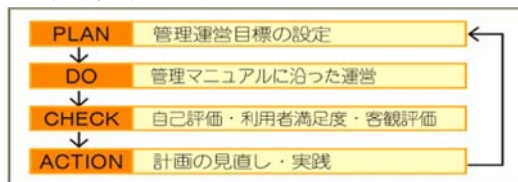
防災体験学習の機会充実

国営の防災公園の管理業務に携わる代表企業や、構成員である（一社）防災教育普及協会のノウハウを活かし、子どもから大人まで楽しみながら学べるイベントや訓練等を開催します。

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1) 基本的な考え方

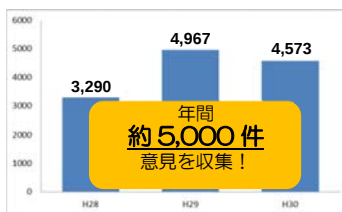
指定管理者は公平・平等に利用者の声を把握し、業務に反映する義務があります。私たちは、これまで構成団体が他公園グループで実施し、成果をあげてきたPDCA マネジメントサイクルに基づき、利用者の声を的確に把握し、業務に反映することで利用者の信頼と満足度を獲得します。



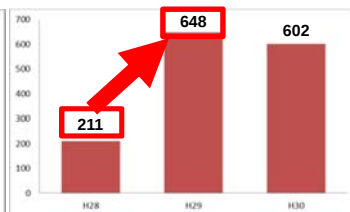
PDCA マネジメントサイクルの考え方

【多摩部の公園グループでのこれまでの取り組み・成果】

- ・利用者から年間約 5,000 件の意見を収集し、意見情報をデータベース化しています。意見情報を問合せ、苦情、要望、感謝等に分類し、毎月・四半期・1 年ごとに分析、東京都に報告しています。
- ・苦情・要望は詳細な分析を実施し、早期対応に取り組んでいます。その結果、平成 28 年～平成 30 年の間に感謝・GoodPark 件数が倍増しました。



意見情報件数の推移



感謝・GPP 件数の推移

2) 利用者要望の反映と仕組み

よりよい公園づくりのために、利用者から広く意見を収集し、それらへの対応方法を検討した結果や管理運営への対応を報告・公開することで、利用者との信頼関係を強化し利用者満足度や管理品質の向上につなげます。

頂いた意見に対しスタッフ全員が同じ対応ができるよう、対応方法をマニュアル化します。また、日常の利用状況の観察により公園の理念やルールを伝えることで、利用者の理解を促進させる取り組みを実施します。

1 意見の把握

私たちは利用者からの意見を様々な手段によって幅広く収集します。

管理事務所での把握

- ・電話対応
- ・来館対応
- ・手紙
- ・ご意見箱
- ・HP 問合せフォーム など

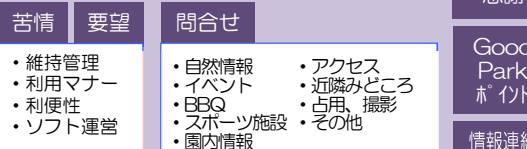
園内での把握

- ・ボランティアからの意見情報
- ・レンジャーの巡回
- ・利用者満足度調査
- ・パークモニターシステム
- ・懇談会
- ・協議会
- ・イベントアンケート など

2 PDCA 部による分類

日常的な利用者からの意見は、苦情、要望、感謝、Good Park ポイント、問合せ、情報連絡の 6 つに分類します。内容を分析するために、公園の特性に合わせて類型化し、データベースを作成します。

意見情報の分類



公園特性に合わせて類型

※Good Park ポイント・・・公園の施設や自然環境などへのお褒めの言葉

3 意見への対応

安全に関する情報や苦情などは、迅速に現場や状況を確認し、**緊急性の高いものはその場で対応**します。その他の動植物の保護・保全、施設整備に関する要望や、利用者ニーズの分析による対応などについては、現場職員・本部・東京都・関係機関などと話し合い、**調整しながら対応方法を検討**し、各部署で対応します。3カ月毎に対応状況の進捗を確認し、**お客様未対応ゼロを徹底**します。

4-① 対応の報告・公開

1ヶ月ごとに意見の傾向や苦情・要望の対応状況、検討課題をまとめ、東京都に報告します。利用者へは早急に対応方法を返答する他、サービスセンター内の意見情報ボード等で公開します。また公園の取り組みや意見情報の傾向については**年度毎に「管理運営概要」を発行**し公園の取り組みについて報告します。



年度ごとの管理運営概要

4-② 対応のマニュアル化

利用者からの苦情・要望の発生から対応までの流れを正確に記録、**スタッフ間で情報共有を徹底**することにより、苦情・要望の再発防止に努めます。また同様の問題が発生した場合に全スタッフが円滑に対応できるよう**対応方法をマニュアル化**します。

4-③ 理解促進の取組

公園の方針や理念について、理解と共感を得ながらマナー改善に導く**コミュニケーション型指導を徹底**します。季節や、利用状況に合わせ、制札板の設置時期や場所、数を検討し、**効果的にルールを周知**します。

利用者の信頼・満足度アップ！

公園の管理品質の向上！

お客様対応の向上

3) 苦情要望への対応方法

全ての利用者に対して、**誠実で平等な対応**を行います。基本的には、**①相手の意見をよく聞き事実を確認する、②よく話し合う、③公園の運営に反映する（必要に応じて広く意見交換を実施）**の3つの手順によって対応します。

頂いた意見のなかでも特に“苦情”については、**「公園を改善する良い機会」**であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、**公園の理念や方針をわかりやすく説明し、相互理解を進めます。**合意が得られない場合は、様々な人との意見交換により、解決策を検討していきます。

4) 利用者要望の反映の事例

事例① 地域住民や学生ボランティアなどの企画提案を実現

公園のイベントに対し**「新緑の中で素敵なマルシェをしたい」「親子が楽しめる場を作りたい」「子育て世代の大人が、ホッとできる空間を作りたい」**等の多様な要望があった場合

【公園の取り組み】

- ・公園をフィールドに「やりたい」を企画した地域住民や学生などの声を**パークコーディネーターが丁寧にヒアリング**する。
- ・役割分担や安全管理等を企画運営者と協議し、実施に向けて**綿密に調整**する。
- ・新緑を楽しむ「春の日マルシェ」、親子で体験プログラム「KIDS DAY」、大人も楽しめるイベント「こもれびピクニック」など**多様なイベントを開催**。

【得られた成果】

- ・管理者だけでは実現できない質の高いプログラムを、**ボランティアな力で実現**。
- ・ニーズやターゲットを捉えた、**公園の魅力を引き出す**プログラムを提供。
- ・イベントの実現により、団体との連携がさらに強化し、地域の特性をとらえた**新たなプログラム**



春の日マルシェ
(陵南公園)



KIDS DAY
(陵南公園)



こもれびピクニック
(陵南公園)

事例② 地権等で特殊な事情がある公園の車両通行の調整

市有地、公有地、私有地がモザイク状にある滝山公園内で、地権者等が公園へ車両を乗入れる際のルールがなく、**「園内を車が走行しており、怖い思いをした」「公園を散歩していたら車にクラクションを鳴らされた」**といった苦情を受けた場合

【公園の取り組み】

- ・公園内を横断する旧都道の地権が不明だったため、関係機関への調査を重ね、明確にした。（S53年に建設局内で、道路から公園へ移管されていたことを確認）
- ・懇談会の開催、催事、地域興し委員会への参加等で関係を深め、車両入場の実態を把握。
- ・西部公園緑地事務所とも協議し、園内の車両通行ルールを作成。地域の方々の理解を得て、八王子市、滝山城跡文化協会、各町会、神社関係者、地権者など11主体に対し通行票を発行。公園利用者が優先であることなど、ルールを周知した。

【得られた成果】

- ・公園内の**安全性が格段に高まった。**
- ・公園管理者が**利用実態をつかめるようになった。**
- ・地域に根深く存在した不安を打開し、**公園管理者の信頼が大きく高まった。**



園内に入る車両
(滝山公園)

滝山公園通行車両

平成30年

No. 1

東京都西部公園緑地事務所
都立小宮公園管理所

車両通行証
(滝山公園)

5) 第三者による公園管理運営診断の実施

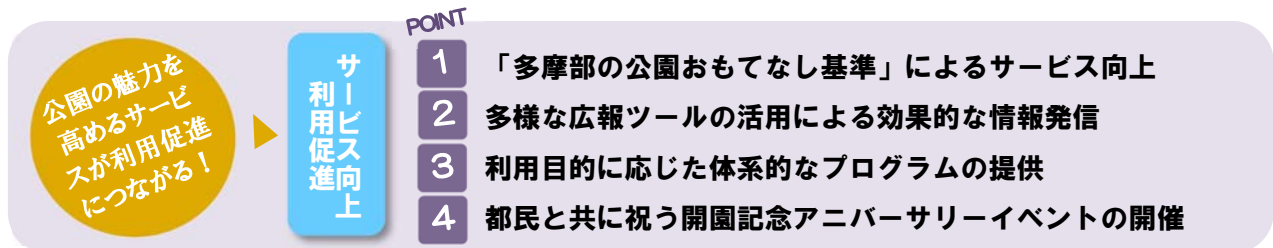
「PMK 公園の管理運営診断」を活用し、利用者満足度調査から各公園の管理運営状況を客観的に把握するとともに、利用者の要望を的確に把握します。他公園と同じ指標で比較することによって、より客観的な管理水準の把握が可能となり、利用者のニーズに応える管理運営を実現します。

※「PMK 公園の管理運営診断（パークマネジメントカルテ）」とは、管理運営の基本となる「緑」「清潔さ」「安全さ」「対応の良さ」「便利さ」「全体」の6項目の利用者満足度と、その評価要因を把握し、その結果をもとに公園・緑地等に関するコンサルタントとして実績のある専門家が診断する、客観的で信頼性のある外部評価システムです。

(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1) 基本的な考え方

私たちは、利用者へのおもてなしの心や公園の魅力を高めるための創意工夫がサービスの向上につながると考えます。さらに、それらを広め、公園毎に特性の異なる多摩部の公園の自然体験、環境学習、スポーツ体験など様々な体験をしていただくことが利用促進につながると考えます。そのため、以下の4つの取り組みを展開することによって、継続的に質の高いサービスを提供し、利用促進に結び付けます。



2) 具体的な取組

POINT

1

「多摩部の公園おもてなし基準」によるサービスの向上

「ユニバーサルサービス」「ホスピタリティ」「アメニティ」の3つの視点からオリジナルのサービス基準を設定することで公園スタッフの接客意識や、公園の管理品質を高めます。また利用者満足度調査等による第三者評価を分析し、サービス基準を見直すことで継続的なサービスの向上を実現します。

多摩部の公園
おもてなし基準

ユニバーサルサービス

- 筆談サービス
- 車いす貸出
- ママ＆パパいつでも安心サービス
- タブレットによる情報発信
- ユニバーサル情報の発信
- 多言語版パンフレット等

ホスピタリティ

- モーニングスマイルチェック
- 親しみ五大用語
- +1 トークコミュニケーション
- ホスピタリティウィーク
- 週末おもてなし情報の発信等

アメニティ

- 365日トイレ清掃
- ウェルカムガーデン
- タウン情報コーナー
- パークアメニティセット貸出
- WiFiの設置
- 利用者参加型アメニティチェック

POINT

2

多様な広報ツールの活用による効果的な情報発信

公園施設やマナー・ルール等の基礎情報や花の見頃、緊急災害情報等の最新情報のほか、ユニバーサル情報、健康づくり、自然、歴史などさまざまな情報を、多様な広報ツールにより発信します。

「正確＆わかりやすい」 基礎情報の発信

- ・公園パンフレット
- ・公式ホームページ
- ・ルール・マナー掲示板
- ・防災パンフレット等



「だれでも安心・快適」 ユニバーサル情報を発信

- ・多言語パンフレット
- ・多言語版サイン
- ・点字案内
- ・ユニバーサル施設案内
- ・英語版HP



「文化・歴史がわかる」 多様な魅力情報を発信

- ・パークマガジン（仮称）
- ・公園・まち歴史散策ガイド等



「公園の“今”がわかる」 タイムリーな情報を発信

- ・現地スタッフ案内
- ・タブレットガイド
- ・緊急災害時案内
- ・公園ブログ
- ・Facebook 等



「公園で自然を満喫」 自然・生きもの情報を発信

- ・レンジャーミニ図鑑
- ・生きもの図鑑
- ・自然情報ボード
- ・パークレンジャーの現地案内
- ・開花情報（HP）等



「公園で運動・健康づくり」 ヘルシーパーク情報を発信

- ・スポーツイベントカレンダー
- ・フィットネスガイドシート等



西武グループのネットワーク 等を活用した広報戦略

西武グループのネットワークや自治体・多様なマスメディアと広報連携することによって多摩部の公園グループを広くPR



外国人向けの広報連携・メディアの拡充

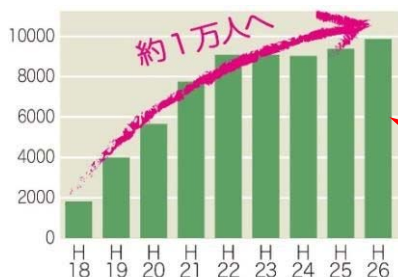
オリンピック・パラリンピックを機に外国人をターゲットとして、ホテルや旅行会社との広報・イベントの連携や外国人向けメディアを拡充し、世界に向けて都立公園や地域の魅力を発信します。

【取組事例】

- ① ビジットジャパンの活用
- ② 外国人記者クラブの活用
- ③ 外国人向けメディア活用

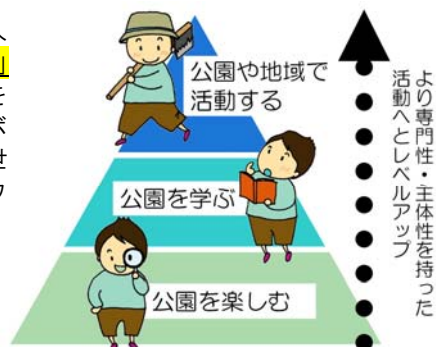
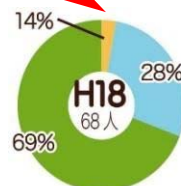
利用目的に応じた体系的なプログラムの提供

公園をあまり知らない人に興味を持ってもらい、公園が好きな人にはより深く知ってもらえるよう、「楽しむ」「学ぶ」「活動する」といった各段階の利用者ニーズをふまえた体系的なプログラムを提供します。この方法を活用した狭山丘陵グループの公園では、ボランティアの延べ人数、登録者数が格段に増加するとともに、多世代化に成功してきました。多摩部の公園グループでもこのノウハウを拡充し、多様なニーズに合わせた利用促進を図ります。



登録数が6倍に増加！
多世代が参加！

参加者数が
大幅アップ！



より専門性・主体性を持った
活動へとレベルアップ

ボランティアのべ参加人数(狭山丘陵グループ4公園)

年代別登録ボランティア数(野山北・六道山公園)

公園を楽しむ

凡例 陵 陵南公園 小 小宮公園 滝 滝山公園 大 大戸緑地 全 全公園

- **季節イベント** 全 ふれあいフェスタや四季の花まつり、マルシェ、コンサート等四季折々の行事や体験を楽しむ季節イベント
- **体験ボランティア** 小 滝 大 下草刈りや花の植付け等に参加できる体験イベント
- **ガイドウォーク** 全 パークレンジャーによる公園の歴史や自然のガイド
- **子育て支援イベント** 陵 親子自然あそびプログラム、KIDS DAY など親子で多摩部エリアの自然を楽しむイベント
- **ヘルシーパークプログラム** 陵 走り方教室やヨガ、太極拳など多世代型の健康づくりプログラム
- **歴史・自然のセルフガイドの発行** 全 公園の特性や魅力を活かしたセルフガイドを発行し管理所等で配布
- **自然体験・環境教育拠点プロジェクト** 総合学習等の支援ガイドブックの内容を継続して充実させ活用 全 町田市の施設等と連携し、バーベキュー、工芸教室、自然観察等多様なプログラムを実施 大



あおぞら広場
(陵南公園)

公園を学ぶ

- **雑木林マイスター講座** 小 雑木林の保全活動のボランティア養成講座
- **深山アウトドアプログラム** 大 トレッキングや野外料理等の滞在型プログラム
- **山城ガイドツアー** 滝 国史跡滝山城址の歴史と自然を歩いて学ぶガイドツアー
- **キッズレンジャースクール** 小 子ども向け自然観察や里山体験のプログラム
- **コミュニティガーデン講座** 陵 公共の花壇づくりに必要なノウハウを学ぶ講座
- **テーマ別自然観察会** 全 野鳥や春の山野草、星空などテーマを絞った自然観察会



深山アウトドアプログラム
(大戸緑地)

公園や地域で活動する

現在、各公園では公園ボランティアが管理者と協働で雑木林等の保全に取り組んでいます。今後もこれらの取り組みを継続・充実させていくとともに、公園特性にあわせた新たなボランティア活動の創出機会を作ります。また、ボランティアコーディネーターを配置することで、多世代が交流し、多様な人が参加しやすいボランティア活動へと活性化していきます



小宮公園ボランティア

都民と共に祝う開園記念アニバーサリーイベントの開催

各公園の開園を記念するセレモニーイベントを開催し、フォトコンテストや市民団体連携事業の実施や、記念グッズ・ポスター等の制作を行います。公園の記念日を共に祝うことで公園への愛着や親しみを育み、地域と共に公園の魅力を再発信する機会を提供します。

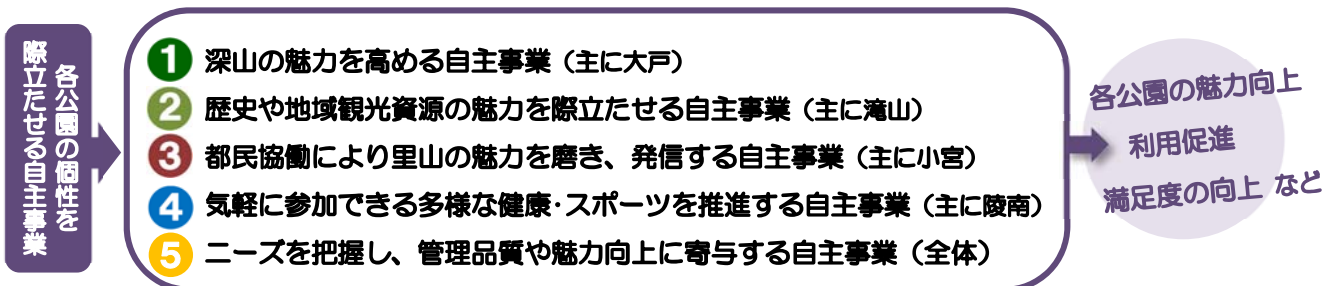
2016年	小宮公園	30周年
2018年	滝山公園	30周年
2018年	陵南公園	50周年
2021年	大戸緑地	10周年

(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1) 自主事業の実施方針

近年の多様化する利用者ニーズへの対応や雑木林の適切な維持管理、公園施設の老朽化への対応など、公園管理運営の課題が増大する中で、指定管理者は、最小限の費用で最大限の効果を発揮する効率的な管理運営が求められています。しかしながら、効率化だけでは限界があることから、私たちは民間ならではのノウハウを活用した自主事業を展開し、その収益を公園に還元することによって、さらなる公園の魅力向上と利用促進を図ります。

本グループの各公園は、それぞれの特性があるため、各公園資源を活かした個性際立つ自主事業を東京都と協議の上実施し、多様化する利用ニーズに応えます。



2) 具体的な取組の提案

●実施公園凡例： 陵：陵南公園 小：小宮公園 滝：滝山公園 大：大戸緑地 全：全公園

各提案は、利用者の安全性や公平性への配慮、自主事業としての実現可否などについて、東京都と十分に協議した上で実施します。

① 深山の魅力をもつ自主事業（主に大戸緑地で実施）

深山ならではの豊かな自然環境を活かしたプログラムにより、子どもから高齢者まで多様な世代が楽しみながら体験や学びができる取り組みを展開します。

事業名	内容	期待できる効果	公園
 深山アウトドア体験	深山ならではのフィールドを活かしたプログラムやトレッキングなど広域レクリエーションプログラムを実施	・地域の魅力発見 ・若年層の利用促進	大
 フォレストアドベンチャー	木から木へと空中移動を楽しめるプログラムを導入（各地で実績のあるツリーマスタークライミングアカデミー等との連携）	・新たな里山の魅力発見 ・新たな利用者の誘引	大
周辺散策マップ	公園周辺の自然環境や地域の歴史、ショップなどを紹介した散策マップを作成	・地域の魅力発見 ・地域振興	全
深山ウェルカムプロジェクト	深山の自然の魅力を伝える自然解説板等を設置。周辺地域を周遊できるセルフガイドやマップ等を充実	・深山の魅力発見 ・新たな利用者の誘引 ・地域の魅力発見	大



深山アウトドア体験
（大戸緑地）

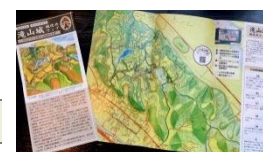


ツリーイング体験会
（大戸緑地）

② 歴史や地域観光資源の魅力を際立たせる自主事業（主に滝山公園で実施）

山城や地域の見どころに触れるプログラムなどの実施により、公園を拠点にした地域の魅力を発信する事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	公園
 山城攻略ガイドマップ	ガイドマップにより物語性を持った山城めぐりを作成（スマフォアプリとの連動）	・環境・歴史・文化の普及 啓発 ・地域の魅力発見	滝
山城ガイドツアー（観光おもてなしプロジェクト）	滝山城の由来などを解説しながら城址を歩き、タイムスリップした気分を味わうツアー（NPO 法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会などと連携）	・環境・歴史・文化の普及 啓発 ・地域の魅力発見	滝



山城攻略ガイドマップ
（滝山公園）



山城ガイドツアー
（滝山公園）

3 都民協働により里山の魅力を磨き、発信する自主事業（主に小宮公園で実施）
都民や NPO などとの協働により里山の魅力を磨き、発信する事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	公園
 雑木林ホール魅力アッププロジェクト	展示のリニューアルを行い、ハンズオンや生体展示、キッズスペース、ブックカフェなどを創設。ボランティア等各種団体の情報交換機能も充実	・自然環境への理解促進 ・子育て世代利用促進	小
レンジャーミニ図鑑	季節に応じた公園の自然や歴史を楽しむためのセルフガイドシートを発行	・環境・歴史・文化の普及啓発	全
公園オリジナルグッズ製作	各公園の特性を活かしたオリジナルグッズを制作	・公園の魅力伝達	全



雑木林ホール展示
（小宮公園）

4 気軽に参加できる多様な健康・スポーツを推進する自主事業（主に陵南公園で実施）
気軽に参加できる多様な健康・スポーツを推進することによって都民の健康をサポートするとともに、オリンピック・パラリンピックに向け気運を盛り上げる事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	公園
 ヘルシーパークプロジェクト	*キッズ&親子スポーツプログラム キッズや親子が一緒に楽しめるスポーツプログラム ・キッズ&ジュニア走り方教室等 *パークフィットネス パークヨガやバランスボールを使ったストレッチなどプログラム *健康づくりアクティブシニアプログラム 大人(主に高齢者)向けの健康づくりスポーツプログラム(ウォーキング・ノルディックウォーキング教室・健康遊具教室等) *からだ測定プログラム 身体測定等を実施しスポーツコーディネーターによるアドバイスが聞ける健康づくりプログラム(足型測定会・体組成測定会 等)	・健康促進 ・子育て世代利用促進 ・施設稼働率の促進 ・スポーツに親しむ機会創出 ・高齢者等の利用促進	陵
元プロ野球選手による野球教室	西武ライオンズ OB 等による野球教室の開催	・スポーツに親しむ機会創出 ・野球人口の増加	陵
世界記録リアル体感イベント	世界記録が体感できる仕掛けを園内に設置し来園者がその偉大さを体感できるプログラム	・オリンピック気運醸成 ・スポーツに親しむ機会創出	陵
ネイチャーチャンピオン	「トンボと人間どっちが速い?」「金・銀・銅メダル色の昆虫・植物を探せ!」など自然の理解を深めながら楽しめるプログラム	・自然環境への理解促進 ・オリンピック気運醸成	全
サバイバルプログラム	災害時に「生き抜く」ためのノウハウを伝えるプログラム	・防災意識・ノウハウの向上	陵・小
ヘルシーパークショップ	イベント時等に限定開催する公園で使用できるスポーツ・エクササイズ用品の販売ショップ	・利便性・満足度の向上	陵
犬のマナーアップキャンペーン	うんち袋の配布やのぼり掲出など犬連れ利用者のマナーアップキャンペーンを実施	・公園マナーの向上 ・犬連れ関係の苦情減少	陵・小
遊具レンタル	公園で遊ぶための遊具を、管理所で貸出	・子供の利用促進 ・利便性・満足度の向上	陵



キッズ & ジュニア走り方教室
（陵南公園）



パークフィットネス
（陵南公園）



世界記録リアル体感イベント
（陵南公園）



サバイバルピクニック
（陵南公園）



愛犬のしつけ教室
（陵南公園）



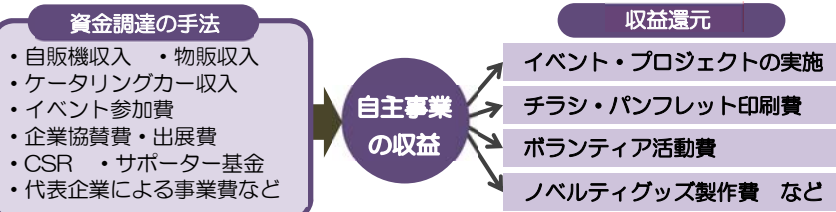
パークマルシェ
（陵南公園）

5 ニーズを把握し、管理品質や魅力向上に寄与する自主事業（全体）
ニーズや利用状況を把握し、公園の管理品質や魅力向上に寄与する事業を展開します。

事業名	内容	期待できる効果	公園
 あったらしいなプロジェクト企画化	利用者の声や地元の力を活かし、公園を盛り上げるプログラムを開催	・利用者サービス向上 ・地域振興	陵
パークマルシェ	飲食物の販売とともに、ゆったりとした時間が過ごせるカフェ空間を提供	・利用者サービス向上	全
マネジメントサポートシステムの開発	パークモニタリングアプリや公金帳票作成システム等の開発	・公園の管理品質向上	全

3) 資金調達から収益還元の流れ

自主事業実施のための資金は、企業協賛・出展費、自動販売機収入、イベント参加費などによって調達します。また、それら収益については、イベント実施費やチラシ印刷など、ボランティア活動費などの公園の魅力づくりのために還元します。

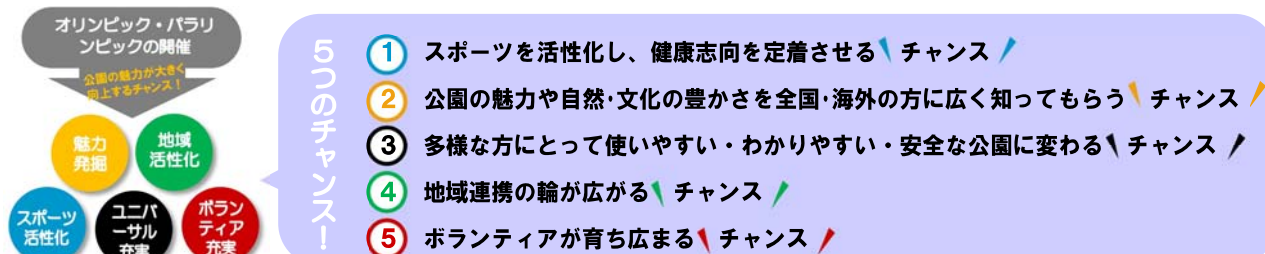


(5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組

1) オリンピック・パラリンピックの影響のとりえ方

東京都は、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、世界都市としてふさわしい都市基盤に改造し、世界中から集まる多くの方々をおもてなしする機会を得ます。同様に、公園にとっても当大会の開催は、魅力や価値を向上させる重要な機会となります。

私たちはオリンピック・パラリンピックの開催は、「5つのチャンス！」であるととらえ、公園の魅力向上の取り組みを展開し、有形・無形のレガシーを後世に残します。

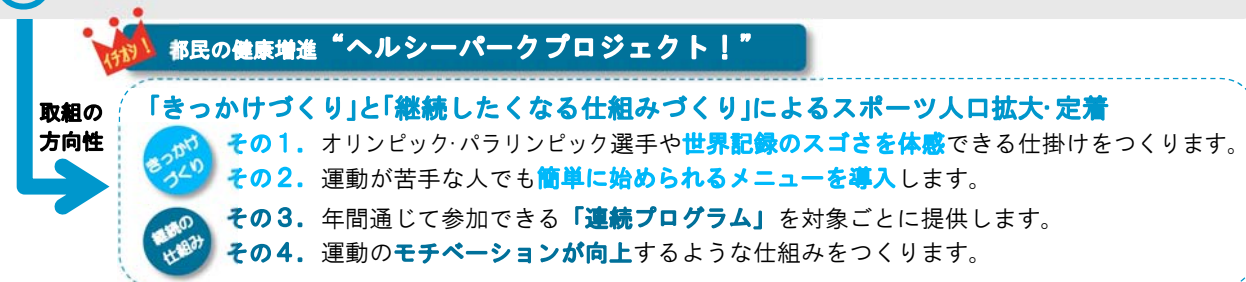


2) 具体的な取組の提案

●実施公園凡例： 陵：陵南公園 小：小宮公園 滝：滝山公園 大：大戸緑地
全：全公園

前項の「5つのチャンス！」を受けた公園の魅力向上のための方向性と、具体的な取り組みは以下の通りです。

① スポーツを活性化し、健康志向を定着させる \ チャンス /



② 公園の魅力や自然・文化の豊かさを全国・海外の方に広く知ってもらう \ チャンス /

取組の
方向性

「魅力発掘プログラム」の実施と「魅力発信広報」の展開

- 伝える・・・公園や地域、日本の自然・文化・歴史の魅力を伝える**魅力発掘プログラム**を実施します。
- 広める・・・グループネットワーク(鉄道・バス等)と連携した広報や、外国人に効果的に伝わる媒体を使った**魅力発信広報**を拡大展開します。



日本文化魅力発掘

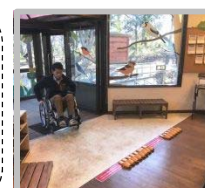
具体的な取組み	概要	実施公園
山城ガイドツアー	公園だけでなく地域の自然・文化・歴史の資源を活用した観光地づくりとしてガイドツアー等を実施	滝
外国人に効果的に伝わる広報媒体などとの連携	オリンピック・パラリンピックを機に、外国人向けの広報媒体との連携やメディアの新規開拓、語学学校へのPR等を実施	全
公共交通機関との広報連携	西武鉄道をはじめとする公共交通機関との連携による地域・公園の情報発信	全

③ 多様な方にとって使いやすい・わかりやすい・安全な公園に変わる \ チャンス /

取組の
方向性

ユニバーサルデザインとしてのハードとソフトの充実

- ハード・・・バリアフリーへの改修やサイン板の多言語化など、**誰もが使いやすい施設へ改修**します。
- ソフト・・・各種マニュアルの改訂やスタッフ研修の充実により「おもてなし」の**気持ち**を伝えるサービス提供を行います。



具体的な取組み	概要	実施公園
バリアフリー改修	障がい者団体等と連携し、利用しづらい箇所をチェック。特に建物周りや入口付近等利用率の高い箇所を優先し、できる限り改修	全
サイン・広報物などの多言語表記、点字付加	サイン板・広報物、レンジャーミニ図鑑などを多言語で表記(既存のものは改修)案内板・解説板などは可能な限り点字も付加	全
距離表示の整備	ウォーキング等に役立つ距離表示を園内に整備	陵
「多摩部おもてなし基準」によるサービス提供	「ユニバーサルサービス」「ホスピタリティ」「アメニティ」の3つの視点からオリジナルサービス基準を設定。スタッフ全員が徹底して実践し来園者をおもてなし	全

④ 地域連携の輪が広がる \ チャンス /

取組の
方向性

オリンピック・パラリンピック気運醸成による地域活性・交流人口拡大

- オリンピック・パラリンピック開催気運を高めることによって、**連携の輪が広がるプログラム**を地域と連携して実施します。



具体的な取組み	概要	実施公園
ワールドガーデン	都民との協働によってオリンピック・パラリンピックを象徴する花壇を整備・育成。オリンピック・パラリンピック終了後も四季を身近に感じる花壇づくりを地域のひとと協働で継承	小、陵
ニッポン応援プロジェクト	地域の住民・学校等と連携したオリンピック・パラリンピックの気運を高める取り組み(カウントダウン設置等)	小、陵

⑤ ボランティアが育ち広まる \ チャンス /

取組の
方向性

ボランティア活動プログラム等の充実によるボランティアの活性化※3(3)参照

- 国内外の方が**気軽に参加できる**ボランティアプログラムを用意します。
- 多様なボランティアの方が**活躍できる場**を用意します。



具体的な取組み	概要	実施公園
ちよいボラ	国内や海外の方のボランティア活動の入り口として気軽に参加できるプログラムを実施(ワールドガーデンの手入れなど)	小、滝、大
各種ボランティアの活躍の場の提供	社会福祉協議会、国際交流協会、教育機関などと連携し、ガイドヘルパー、通訳ボランティア、学生ボランティアなどが活躍できる場として公園を提供	全

4 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

1) 維持管理の方針

私たちは、持続可能な公園の維持管理を進めるため、総合的に企画、管理、活用するファシリティマネジメント※の「ファシリティが備えるべき5つの品質」に基づき、東京都の整備などと連携し、施設の品質の維持向上と中長期的視点に立った効率化を進めます。

多摩部の公園グループの各公園は、まち中から山地部まで異なる立地特性となっています。誰もが安心・安全・快適に利用できる維持管理を行うとともに、生物多様性の保全、展望広場からの眺望の確保、自然とのふれあいの場を提供する機能を十分発揮させ、里山資源の活用などを積極的に進めます。また、国指定史跡区域では、文化財担当課と事前協議を行い適切に管理します。

※ファシリティマネジメント：企業・団体などが保有又は使用する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略の視点から総合的かつ統一的に企画、管理、活用する経営活動（日本ファシリティマネジメント協会）



多摩部グループが備えるべき5つの品質

2) 具体的な取組

(i) 安全 安全で安心して利用できる施設の提供

丘陵地の特性に合わせ、年間・月間維持管理計画を作成し計画的な維持管理作業を実施します。

①施設や樹木点検の徹底による予防保全

日常巡回、定期点検により施設の不具合が発生する前の予防保全を実施します。人が集まる広場や園路の大径木については、日常巡回・定期点検のほか樹木医などにより定期的な樹木点検を行い安全確保に努めます。

②多様な目線で不具合をチェックし、早期対応・是正を実現

パークレンジャーや点検スタッフだけでなく、一般来園者も参加しながら、公園の不具合を発見し、早期対応・是正できるシステムを確立します。

・**パークモニタリングアプリ（パクモニアプリ）**：巡回点検では、独自開発したスマートフォンを活用した「パクモニアプリ」を使用し、施設の不具合と位置情報を所管管理所と即時に共有、早期対応・是正に取り組みます。

・**参加型パークモニタリングシステム**：一般来園者が施設の不具合、不法投棄などを発見した際に、管理所へ連絡するシステム

・**パークスキャン**：年に1度公園スタッフ全員による、園内安全確認の実施。多様な目線から公園の安全管理について意見交換を行い、より安全で安心して利用できる公園を提供します。

③安全・安心に関わる会議の開催

スタッフ、協力団体などが一体となって、利用者及び作業者の安全・安心への意識を高めます。

- ・安全大会（年1回）：協力会社を一堂に集めて開催する大会。安全週間準備月間を設け安全作業を啓発
- ・安全会議（年2回）：維持管理担当スタッフと協力会社を集め、安全に関する会議及び研修会を開催
- ・維持管理ミーティング（月1回）：管理計画の履行状況や日常の安全管理などの確認、課題抽出と解決策を検討

④防犯カメラの設置

夜間人が滞留する場所やいたずらなどの被害が多い場所に、東京都と協議し防犯カメラの設置を推進します。



パークスキャン



スマホによる情報入力



各種情報の入力画面



情報を帳票に出力

(ii) 長持ち 中長期的視点によるライフサイクルを見据えた計画的な維持管理

施設の長寿命化を図り、計画的な補修・修繕・改修、予防保全を進めます。

- ・公園スタッフと、本部在籍の建築・設備の専門チームが連携して、施設点検結果をふまえて、公園別長寿命化計画を策定し、東京都と協議の上、計画的な更新を図ります。

(iii) 使いやすい アメニティ向上による快適で居心地の良い空間づくり

園内の日常清掃・定期清掃を行い、常に清潔感のある公園施設を提供します。スタッフ一人ひとりが美化・清掃への意識を高めるよう、定期的にスタッフ全員で管理所周辺などの一斉清掃を実施します。

①専門団体と連携した快適性向上と365日トイレ清掃

トイレの管理は365日の清掃に加え、専門会社による特別清掃を全公園で計画的に行います。また（特非）日本トイレ研究所の協力によりトイレ診断などを実施し、快適で利用しやすいトイレ環境を提供します。

②適切な植栽管理による快適性の向上

広場・草地の適切な草刈りにより利用しやすい快適な空間を提供します。また利用頻度の高い広場の周辺や園路際の樹木の下枝の撤去や、伐開を実施することで視認性、見通しを良好させ、快適利用を向上させます。なお、大戸緑地においては、大戸緑地植生管理計画（H26）に基づき目標とする植生の実現に向け適切な管理を行います。



トイレ手洗いの花一輪運動
（小宮公園）



芝刈ロボットの導入
（陵南公園）

③野球場の芝生の効率的な管理による快適性と利用者サービスの向上

運動場の芝生を効率的・効果的に管理するため、代表企業で既に導入実績のある「全自動芝刈機（芝刈ロボット）」を本格導入する（候補地：陵南公園）。これにより芝生の管理品質が向上するとともに、夜間の芝刈り作業が可能となり、日中の施設利用に影響を与えず、利用稼働率を最大に活用する。

(iv) 品がいい 美しい里山の風景の保全・創出と景観のトータルマネジメント

利用者の安全や生物多様性に配慮した、計画的な植栽管理を進めるとともに、美しい里山の風景の保全・創出とそれと調和する景観のトータルマネジメントを行います。

①ランドスケープマネジメント

多摩の美しい風景を保全・創出し、また、その風景を活かすためのランドスケープマネジメントを行います。

・**ランドスケープチェック**：本部のランドスケーププランナーなどと連携しながら、眺望景観や奥行きを感じさせる景観、カメラスポット、また、居心地の良い広場づくりの現場視察・意見交換を行い、修景伐採など利用と自然環境の保全のバランスを考慮した植栽管理計画に反映させます。

・**園内サインのトータルデザイン**：園内サインは、公園全体の雰囲気を出し出す重要な要素であるため、デザインを統一化するとともに、清掃の徹底や交換により、美しい状態を保ちます。



トータルデザインによるサインの設置

②公園の個性を活かした景観づくりプロジェクト

・**多摩部の公園十景プロジェクト**：オリンピック・パラリンピックに向けて、多摩部の公園グループの都立公園の風景のみどころを選定し、「多摩部の公園十景」としてPRします。また、選定された修景地を魅力的な景観として整備し、写真スポット等として来園者が楽しめる場所を創出します。

陵南公園	ケヤキ保護・育成プロジェクト/サクラ保護・育成プロジェクト	・ケヤキの保護・育成プロジェクト 展望広場、遊具広場のケヤキは大径木化しているため、落枝防止等のため点検を行い安全確保に努める。 ・サクラの保護・育成プロジェクト サクラの更新（伐採、新植等）を実施。また多くのサクラが植栽されているので、品種特性に応じた維持管理に努める。
小宮公園	雑木林 花の見どころプロジェクト	林床にウバユリやツリフネソウなどの群生を創出し、自然のことを知らない人でも楽しめる雑木林を作る。
滝山公園	滝山城址の遺構の保護と再生プロジェクト	公園からの眺望を確保し、観光振興につなげるため、自然環境とのバランスを考慮した剪定・伐採を行う。
大戸緑地	竹林コントロール計画	雑木林内に侵入しつつある竹林を、除伐によって適切にコントロールし、美しい里山景観を取り戻す。竹林エリアも整備し、発生材を園内のメンテナンスやボランティア活動で活用する。

(v) 環境にやさしい 生物多様性向上と資源の有効利用等の推進

里山の環境・資源を活かした地球環境保全を進めます。

①生物多様性の向上 → 「Ⅱ. 4 (4) 丘陵地特性をふまえた植生管理」参照

大戸緑地植生管理計画（H26）に基づいた希少種の保護・育成を行います。

②資源の有効活用

植栽管理で発生した枝葉、間伐材などを積極的にリサイクルするとともに、**里山資源を活かしたライフスタイルを提案**していきます。あわせて、ゴミや廃棄物の縮減、資源の再使用などの3R活動を進めます。

- ・剪定時に発生した枝葉は、そだ柵としての活用や堆肥化などにより園内循環するとともに、都民協働やイベントなどで積極的な活用を進めます。
- ・管理者としてリサイクル・リデュース・リユースの**3R活動を推進**するほか、エコバック配布やゴミの持ち帰りなど**都民への理解を促進**します。

③省エネルギー対策の推進

管理所や園内の省エネルギー化を進め、地球温暖化対策に貢献します。

- ・管理所内照明のLED化、発生材を使った焚き木カフェ（小宮公園）を冬季に行い、資源に配慮した省エネルギー化に貢献します。
- ・各トイレの照明の人感センサースイッチ化を進めます。
- ・その他、緑のカーテン、クールビズなどを実施し、総合的に省エネルギー化を進めます。

3) 緊急時に対応した施設維持管理

緊急時にも公園施設の機能を確保し、速やか復旧するため、以下の取組みを行います。

想定すべき緊急時	●暴風、豪雨、竜巻、地震、洪水、山火事等による落枝、倒木、崖崩れ、広場や園路の浸水、公園施設の損壊 ●いたずらによるベンチやトイレ等の破壊 ●オーバーユースによるトイレ等施設の利用不能	■緊急車両が通行できる園路幅や高さの確保（樹木管理） ■防災関連施設の定期的な保守点検、動作確認 ■緊急資材の常備（ブルーシート、カラーコーン、発電機、水中ポンプ、投光器など） ■緊急時の重機・機材を代表企業のネットワークにより確保 ■協力会社と災害復旧等に関する協定締結
----------	--	--

(2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

1) 安全対策・発生時の取組み方針

私たちは、**日常の安全点検**をはじめ、**巡回・防災訓練**などといった安全管理・危機管理を徹底し、事故や自然災害・感染症などの未然防止に取り組みます。事故・災害発生時には、各種分野の協力団体（**災害復旧に関する協定を締結**）とともに、安全確保、被害の最小化に向けて全力で対応します。東京都・各自治体・警察・消防などとの**連携体制を一層強化**し、利用者や周辺住民、ボランティア、公園スタッフの**誰もが安全に安心してすごせる公園づくり**を行います。

2) 具体的な取組

(i) 事故への対策

事故を未然に防ぐため、様々な主体・視点による**点検と予防保全**、事故発生シーンの毎に想定した**備えの充実**、各関連機関との**連携・情報共有・普及啓発**を行います。また、利用者の安全を第一とし、東京都への報告、二次被害防止などの対応を着実に実施します。



樹木点検
(陵南公園)



ボランティア安全管理講習
(滝山公園)

① 事故を未然に防ぐための安全対策

点検と予防保全	全体的な点検	・巡回スタッフ：危険箇所、重点点検箇所を明記したハザードマップによるチェック（毎日） ・レンジャー：クビアカツヤカミキリなど、重点警戒を要する外来種のチェック等 ・チーフスタッフ：本部の専門スタッフと各部署のチーフスタッフによるチェック（年1回） ・利用者参加：パークモニタリングシステムにより、公園ボランティアなど市民モニターから情報収集
	施設毎の点検	・公園全般：「公園施設の安全点検に係る指針（案）（H27.4 国土交通省）」に基づく定期点検 ・樹木：「植栽管理マニュアル」に基づいた樹木点検（通行路・見通し・照度確保・越境枝等）、倒木・落枝のおそれのある樹木に対する樹木医による点検・診断 ・遊具：指針に基づいたマニュアルのチェックリストによる目視点検（毎日）。触診・聴診・利用点検等の自主点検（2名以上、月1回）。遊具の構造や点検に関する専門的な知見・技能を有する専門技術者による点検（年2回） ・池など水景施設：ポンプ等設備の点検、水質の定期的な点検
備えの充実	日常的な備え	・安全管理マニュアル、災害時初動マニュアル等に基づく訓練、新しい知見・経験に基づくマニュアルの継続的な改善 ・消防署と連携した初期消火訓練、救急救命士による応急手当・AED講習の実施（全スタッフ） ・応急対応セット、熱中症対策キットの携行（応急対応で必要になるテープ、ハサミ、経口補水液等を収納） ・反社会的勢力対応基本規程に基づく対応
	特定日・夜間の備え	・桜花期・繁忙期の多客時、夏期・年末年始の夜間等：必要に応じ警備会社等による巡回を実施 ・イベント時：保健所の指導のもとイベント時の臨時出店等における食品衛生管理の徹底。猛暑時の実施基準を定め、イベント開催、変更、中止等の適切かつ速やかな決定と運営を実施 ・被害発生時：トイレや自動販売機等への破壊行為に対し、警察への速やかな被害報告、迅速な設備復旧を実施。また、再発防止のため警察へのパトロール強化依頼や夜間巡回警備を強化
	テロへの備え	・テロ全般：本部による最新情報の発信や基礎知識、対策研修を実施し、全スタッフの情報管理意識の向上 ・大規模テロ：「東京都国民保護計画」（R元7変更）に基づき、作成した対応マニュアルを更新 ・サイバーテロ：ウィルスチェック等、個人情報、顧客情報等を保存しているサーバー・パソコンの状態を随時確認
連携・情報共有・普及啓発		・全体：東京都や地元自治体、警察や消防など各関連機関との連携強化と連絡体制の整備 ・毎日の朝夕礼やチーフ会議：公園スタッフ間での園内施設の状態や事故に関する情報、気象情報の共有 ・安全会議：スタッフ、協力会社間での事故事例の共有と事故予防ワークショップの開催 ・ボランティア向け講習：公園で活動する登録ボランティアを対象とした安全管理講習の実施

② 事故発生時から事後の対応

1	負傷者の救助と事故発生現場の安全確保	・現場確認（スタッフは応急対応セット、AED等の救命器具を携帯） ・負傷者が発生した場合は状態を確認し、救急要請・引継ぎ ・二次的な事故防止のため、事故発生現場の立入り禁止、使用禁止措置を実施
2	東京都への報告、本部、関係機関への連絡	・負傷者の身元、連絡先を確認し、家族等に連絡・状況説明 ・現場検証と目撃者へのヒアリング（いつ・どこで・誰が・どうして・何を）を実施 ・東京都へ状況報告（第一報は30分以内）、対応完了報告 ・「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ事故の状況を報告
3	事故原因の究明と再発防止策の検討・実施	・現場状況やヒアリング結果に基づき、事故で発生原因を明確化 ・再発防止策を検討、迅速な対応策を実施し、東京都へ報告
4	関係者内の情報共有と利用者への注意喚起	・事故再発防止策について公園及び公園管理関係者での情報共有を徹底 ・必要に応じ、管理所や掲示板、ホームページ等で事故に関するお知らせや再発防止対策のための注意喚起を実施
5	管理マニュアルの改訂	・事故再発防止対策を踏まえ、安全・管理に関するマニュアルを速やかに改定および再発防止対策のための注意喚起を実施

(ii) 自然災害への対策

首都直下地震をはじめとする地震対策、ゲリラ豪雨や積雪などの気象災害への備えを充実させます。

① 自然災害への備え

首都直下地震等の地震対策	点検と予防保全・備え	- 東京都や自治体の定める地域防災計画など上位計画に基づく役割の確認 - 安全対策マニュアルに基づく定期的な参集訓練、通報訓練の実施 - 防災関連施設（防災トイレ、かまどベンチ等）の日常点検 - 公園管理者として防災に関する知識技術を身に付ける防災学習の実施※ - IP無線の活用：電話回線網が使用不可の際には導入したIP無線で本部・公園間の緊急連絡網として活用
	連携・情報共有・普及啓発	地域関係者との連絡会開催：地域住民、地元自治体、社会福祉協議会、警察、消防等と顔の見える関係を構築するため、連絡会を立上げ、災害時に公園の果たすべき役割や関係者の初動対応等について確認 防災イベント・防災訓練の実施：「防災フェア」や「そなえパークの日」など楽しく学べるイベントや訓練を通して地域防災力を向上※ 防災パンフレットの活用：公園の役割、防災施設の設置場所、使用方法等をわかりやすく記載、積極的にPRし、地域防災力を向上
気象災害対策	点検	平常時から側溝や雨水桝などの清掃を徹底するとともに、過去の災害箇所を確認・周知し、気象警報発令時の重要点検箇所として設定
	備え	最新の気象情報の把握：ナウキャスト（気象庁）や緊急速報メール（各自治体）、気象情報提供サービス（民間企業）等を活用し、情報収集を強化 資材の事前配備：土嚢やビニールシート、丸太材などの緊急対応のための資材を配備 積雪時対策：利用動線の除雪と凍結防止処理、必要に応じて利用制限 スタッフ訓練：利用者に危険が及ぶ気象災害（強風や落雷等）が予測される場合には、マニュアルに基づき注意喚起や安全な場所への避難誘導を実施。東京都と連携を図り、臨機応変に対応

※代表企業が管理運営している東京臨海広域防災公園（令和元年12月現在）や構成団体である一般社団法人 防災教育普及協会のノウハウを活用

② 災害発生時から発災後の対応

1	災害時の体制への転換、被害状況の確認と利用者の安全確保	- スタッフの安否確認 - 本部に災害対策本部、小宮公園に現地対策本部を立上げ統括指揮 - 各管理所に「連絡通報係」「安全点検係」「避難支援係」を設置 - 近隣事務所および近隣に在住する従業員が必要に応じて現地に参集
2	被害状況の確認と利用者の安全確保	- 園内の被害状況、負傷者の有無の確認・応急救護 / 園内の利用者を安全な場所に誘導 - 危険箇所の立ち入り禁止、使用禁止措置を行い、安全確保を実施 - テレビ・ラジオ等による情報等の収集
3	東京都への報告、本部、関係組織への連絡	- 負傷者・被害状況等の情報を整理し、東京都へ報告（第一報、定期報告） 「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ被害状況を報告 - 自治体・消防・警察等の関係機関との連絡調整
4	関係者内の情報共有と利用者への情報提供	- 被害状況について公園、公園管理関係者内の情報共有を徹底 - 管理所や掲示板、ホームページ等で災害による被害状況や園内危険箇所への注意喚起を実施 - 必要に応じ安否伝言掲示板の設置 - 園内の利用者へ避難所や物資の配給場所等の情報提供

※ 大地震発生後の被災者等支援

- 自動販売機等の飲料水などの物品や、最新情報（地震速報・公共交通機関の運行状況や付近一帯の地図等）の提供により帰宅困難者等を支援
- 近隣の小中学校等が避難所となった場合、東京都や自治体との協議の上、被災者の健康維持や子どもたちの遊び場として広場等を提供。交流の場づくり等、関係者と連携し被災者支援に協力

(iii) 感染症への対策

鳥インフルエンザやデング熱、中東呼吸器症候群（MERS）など、感染症拡大を防ぎます。

① 感染症拡大を未然に防ぐための安全対策

点検と予防保全・備え	- 発生の危険性が高い箇所（トイレや手洗い等）は「東京都感染症マニュアル2018」に基づき、定期的な施設の洗浄・消毒を実施 - 手洗い場に薬用石鹸やアルコール消毒液等を設置し、手洗い奨励の貼り紙等による注意喚起・啓発 - 感染症に関する講習会等に積極的に参加 - 保健所や関係機関等の情報および新聞・テレビ・ラジオ等より情報を収集
------------	--



手洗いに洗浄液を設置

② 感染症発生時から発生後の対応

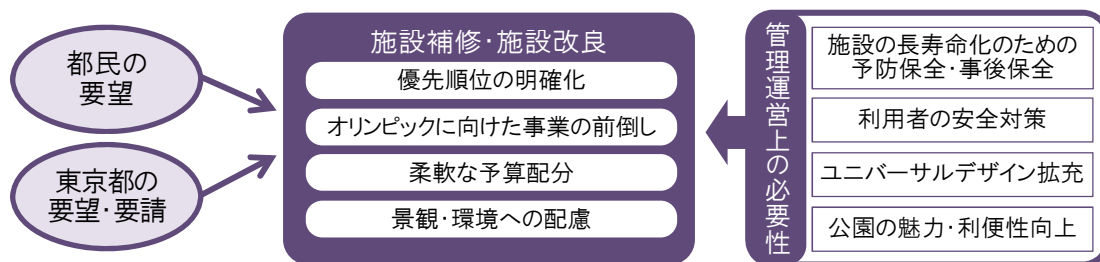
1	国内での患者発生時	- 正確な情報入手、公園間で共有し、厚生労働省や東京都と連携して適切な対応を実施 - 従業員は正しい手洗い、うがいを励行するとともに、利用者への呼びかけを徹底 - 利用者、スタッフへの注意喚起や予防啓発（マスク、手洗い等） - 園内の嘔吐跡や体調不良を訴える利用者があった場合は記録し、必要に応じ東京都・保健所に報告 - 管理所や掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施 - 東京都や地元自治体等が実施する調査や感染源（蚊など）の駆除、対応策等に全面的に協力 - 感染源の発生箇所になりうる場所の確認と予防対策 【デング熱の場合】 雨水排水桝、池、水たまり、竹やぶ、湿地、ゴミの多い場所など蚊の発生源マップを作成し、利用者に注意喚起
2	公園内での患者発生時	- 自治体等が実施する調査や蚊の駆除、対応策等に全面的に協力 「長袖・長ズボンの着用、サンダル履きをしない、虫よけ剤を使う」といったチラシ等を設置し、利用者への注意喚起を実施 - 東京都と協議の上、施設利用制限、立ち入り禁止措置を行い、発生の伝播の抑制 - 東京都の指示に従い、薬剤散布の実施 / 被害状況について公園、組織内での情報共有を徹底 - 管理所や掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施

(3) 要望やオリンピック・パラリンピック後も見据えた 施設補修、施設改良への取組

1) 施設補修や施設改良に対する考え方 ～予防保全を重視した先行的な施設補修・改良の実施～

私たちは、施設補修や施設改良要望について、広く都民の意見を収集し、優先順位を判断し、適切かつ迅速な対応を行います。また、都民や東京都からの要望のほか、管理運営上必要な施設補修や施設改良もあることから、利用者の安全確保を第一に、これらを総合的に判断しながら対応します。

さらに、必要に応じてオリンピック・パラリンピックに合わせた事業の前倒しを行うなど、民間ならではの柔軟な対応を実施するとともに、周辺の景観と調和し、環境へ配慮した補修・改良により、公園の魅力を持続します。



2) 都民や東京都からの要望への対応

① 要望内容等の把握

- 施設補修・改良に関する **利用者要望を広く収集** します。
- 要望などの内容を良く聞き、目的や理由、要望項目などの内容を **具体的に確認** し、内容によっては **面談や現地立ち会い** を行います。
- 必要に応じて **専門技術者の見解や現地確認** により、その内容を正確に把握します。

② 施設補修・要望内容等の分類

- 上記の要望内容の把握により、**施設補修・改良の必要性や優先度を検討** し、「利用者の安全に関わる要望」「軽微な修繕の要望」「大規模な修繕の要望」に分類します。
- これまで蓄積してきた意見情報データベースより、**利用者意見の傾向** をふまえ、施設補修・改良の優先度を精査します。

③ 施設補修・要望内容への対応

分類した内容に基づき、下記のとおりに対応します。

- **利用者の安全に関わる要望**
東京都と連絡・協議し、利用者の安全を第一に考えて迅速に対応します。
- **軽微な修繕の要望**
施設の用途や形状変更を伴わない範囲内で迅速に対応します。
- **大規模な修繕の要望**
施設に対する質の向上についての改善要望や公園の環境特性に影響を及ぼす大規模な修繕が必要な要望については、誠実に意見を受け止め、東京都と詳細な協議を行い対応します。
- **ユニバーサルな視点の要望**
軽微・大規模に関わらず、多様な方の利用を助ける施設の改良（手すりの設置・案内板への点字追加等）に関する要望については、積極的に実施に向けた検討（東京都への提案・協議）を行います。



車椅子利用者が使いやすいように
引き戸に改修
(小宮公園)



段鼻を塗装し、視認性を向上
(小宮公園)

④ その後の業務への反映

- 要望などの発生原因を評価検討した上で **PDCAサイクル** に組み込み、業務を改善します。
- 要望などの内容は、経緯を追跡できるよう **管理データベースを作成** し、今後の公園整備、管理運営の情報として活用します。

3) オリンピック・パラリンピック後も見据えた施設補修や施設改良の対応

2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックを契機に運動施設や公園施設への利用ニーズが高まることが予想されます。国内外から来園する多くのお客様や障がいを持たれたお客様に、都立公園を心から楽しみ満足していただけるよう、東京都と協議の上、施設補修・改良に積極的に取り組みます。

(i) 誰もが来園しやすい環境を作る、ユニバーサルアップ事業

車いすやベビーカーでも里山を楽しんでもらえる「誰でも里山コース」の設置、点字ブロックの設置など、誰もが来園しやすい環境を整えます。

誰でも里山コースの設置

【小宮、大戸】

車いすの人でも気軽に楽しめるコースを選定して園路や看板を整備します。

トイレのアメニティ性の向上

【全公園】

老朽化した設備の補修・改良や男子トイレ便器の自動洗浄化による衛生環境状態の向上などを行います。

外国語対応サイン

【全公園】

園内サインは日本語に加え、英語・中国語など外国語を表記したサインを設置します。



誰でも里山コース
(小宮公園)



トイレの自動洗浄化
(小宮公園)

(ii) 里山の魅力を伝える、拠点施設のおもてなしアップ事業

里山の魅力が詰まった、思わず立寄りたくなる拠点施設づくりを進めます。管理所では、実物を用いたリアリティのある展示、ハンズオンのキッズコーナー設置などを行います。

温かみのある空間づくり

【小宮】

焚火カフェを冬季に行い、里山循環の大切さを伝えるとともに、お客様を温かく迎えます。

ミニシアターの設置

【小宮】

小宮公園の雑木林ホールなどに、多摩丘陵の四季を楽しむミニシアターを導入します。



ハンズオンで楽しめる
キッズコーナー
(小宮公園)

(iii) 健康づくりを促進させる、ヘルシーアップ事業

オリンピック・パラリンピック開催に向けて、健康志向の高まりが予想されることから、丘陵地公園でもスポーツを楽しめるコースや、スポーツを楽しむための利便性を高め、都民の健康を支えるヘルシーアップ事業を実施します。スポーツ施設の管理は協力団体のミズノ(株)のノウハウを活用し、安全かつ快適な品質を保ちます。

ウォーキングコース

【全公園】

ウォーキングコースを設定し、案内表示や距離表示などのサインを設置します。

ヘルシーアドバイス看板

【陵南】

(株)ミズノスポーツサービス監修のもと、より効果的な運動につながるアドバイス看板を設置



剥製の展示
(小宮公園)



ウォーキングコースの距離表示
(陵南公園)

4) 資金計画の考え方

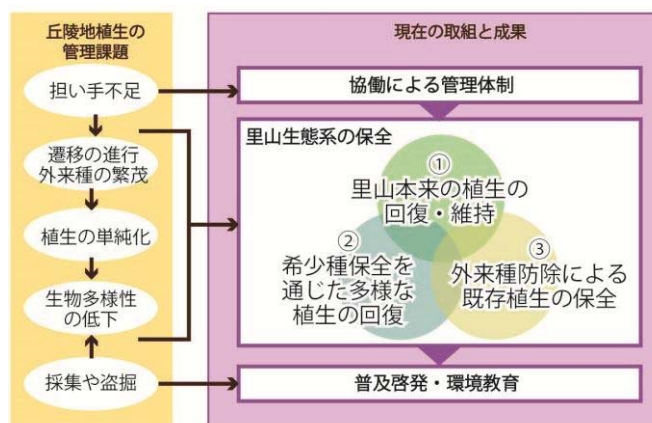
- ・原則として、施設補修・修繕費が30万円未満のものに対しては、あらかじめ補修のための**年間予算として計上した資金(消耗品費等)を活用**し補修します。
- ・30万円以上の施設の補修については、「**緊急対応等経費**」により行います。あらかじめ年間の執行計画を東京都と協議により定め、緊急性の高いものについては柔軟に計画を変更して対応します。
- ・施設補修・修繕のための年間予算や、東京都の「緊急対応等経費」を執行した後に、さらに緊急性を要する施設補修・修繕の必要性が出てきた場合は、東京都と協議の上で先行実施を行う等、自己資金により**柔軟に対応**します。
- ・対応が困難な大規模の施設補修・修繕は、**都と協議のうえ、整備工事**として対応いただきます。
- ・日常のこまめな点検、補修などにより施設の長寿命化・予防保全を図ることで、効果的な資金運営を図ります。
- ・全国の都市公園の管理運営で培ってきた民間ならではの柔軟なノウハウにより自主事業を実施し、都立公園の役割を踏まえながら収益の拡大を図り、公園の魅力づくりのために収益を還元します。
- ・東京都と協議の上、積極的に企業協賛を検討します。

(4) 丘陵地特性をふまえた植生管理

1) 基本的な考え方と留意点

多摩部の公園グループの主たる既存植生は、コナラやクヌギを中心とした雑木林です。これに湿地、水路、草地など、多様な環境が組み合わさり、豊かな生態系が形成されています。しかしながら、樹林は手入れの担い手不足で遷移が進み、草地や湿地では外来種が増加するなど、植生の単純化や生物多様性の低下が課題となっています。

そこで私たちは、**協働による管理体制の構築**、**希少種の保全・再生**など、先進的かつ多様な事業を展開し、**公園から里山保全をリード**していきます



2) 具体的な取組

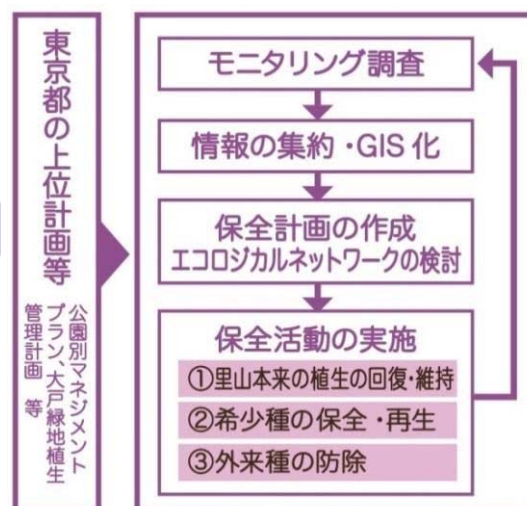
(i) 協働による管理体制の継承・発展

多摩部の公園グループでは、これまで、ボランティアとの協働による雑木林の萌芽更新や花壇づくりなどが行われてきました。私たちはこれを継承しつつ、ボランティア、市民団体、学校、企業等の新たな連携先を模索し、多様で強固な協働の体制を構築していきます。(3(1)参照)

(ii) 里山生態系の保全

私たちは東京都の上位計画*を念頭に置き、右図のPDCAサイクルによって管理手法の最適化を図りながら、里山生態系の保全を推進していきます。

*東京都の上位計画：公園別マネジメントプラン、大戸緑地植生管理計画、多様な生物が生息する都立公園づくりガイドライン等



里山生態系保全のPDCA サイクル

① 里山本来の植生の回復・維持

東京都の上位計画等に基づき、それぞれの環境タイプに応じた丁寧な管理を行うことで、生物多様性を保全します。

区分	基本的な管理	公園特性をふまえた主な取組み	対象公園
雑木林	・都民協働による下草刈り、ササ刈り ・優先順位設定による効率的な管理 ・園路沿い・活動地の枯損木処理 ・山野草の見どころづくり ・松枯れ対策	・ゼフィルスが舞う雑木林づくり ・山野草の保全と見どころづくり(エビネ、キンラン、ワダソウ等) ・ニホンリスが暮らせる森づくり ・ハルゼミ保全とアカマツ林再生	小 大 小 大 小 大
谷戸部	湿地 ・都民協働による外来種の抜き取り ・希少種保全のための選択的除草	・埋土種子を活かした希少な湿生植生の再生・維持(サワギキョウ等)	小 大
	小水域 ・落ち葉の除去	・両生類保全のための水辺環境管理(アカハライモリ、カエル類)	小 大
	湧水路・水路 ・水流保持のための草刈り、外来種の駆除	・湧水を活かしたタゴガエル、アカガエル類の保全	小 大
草地部	草地 ・外来種の駆除 ・多様な草地環境の創出 ・草の刈り残しによるバッタランド創出	・多様な草地づくりによる生きものの誘致(ノウサギ、カヤネズミ、ギンイチョモシセリ、バッタ類等)	大 小 大
耕地部	花壇等 ・協働による修景、管理	・在来植物の遺伝的多様性に配慮した導入種の選定	大

大…大戸緑地 小…小宮公園 大…大戸緑地



タゴガエル生息地(大戸緑地)



ワダソウ生息地(小宮公園)

②希少種保全を通じた多様な植生の回復

東京都及び環境省レッドデータブックに掲載されている種を「希少種」とし、多摩丘陵におけるその保全の緊急度別に保全対策を実施し、様々なタイプの環境・植生を回復していきます。

●希少種の生息調査を実施

各公園で希少種の生息状況調査を定期的に行います。その結果から、希少種を「過去に絶滅した種」「絶滅寸前の種」「生育エリアが限定的な種」に分類して、保全対象種を選定します。

●緊急度別の保全対策

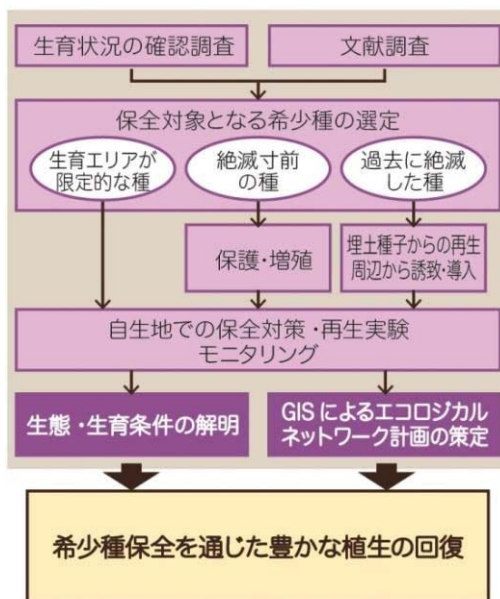
【過去に絶滅した種】 生息調査や過去の文献記録、市民団体からの情報をもとに、かつて生育していた場所の環境整備や土壌採取を行い、埋土種子を発芽させて植生を復元します。

【絶滅寸前の種】 絶滅の危険性が高い種について、自生地の環境整備と飼育等による育成を合わせて実施し、積極的な保護・増殖を図ります。

【生育エリアが限定的な種】 自生地の環境改善、選択的除草などによる保全対策を実施し、生育エリアの拡大を図ります。

●GISによるエコロジカルネットワーク計画の策定

各環境タイプの面積や近隣の緑地との距離、野生生物の移動距離などをGISで分析し、生息地をつなぐ「エコロジカル・ネットワーク戦略地図」を作成します。例) カヤネズミの個体数を増やすため、イネ科草地の連続性を検討し、新たな草地づくりや適切な管理につなげます。



重点的な取り組み	●山野草の保全と見どころづくり  協働による適切な雑木林の管理により、エビネ、キンラン、ワダソウ、キンミズヒキ等の希少種及び多摩地域らしさを構成する種を保全し、山野草が楽しめる見どころづくりに取り組みます。	●多様な草地づくりによる生きもの誘致  草地環境を再生し、キツネやショウリヨウバッタモドキ、ギンイチモンジセセリ等の生息場所を確保する。また、周辺域との草地ネットワークを検討します。	●湧水を活かした生きものの保全  東京都の「名湧水57選」の一つでもある小宮公園など、湧水が豊かな公園において、アカガエル類の繁殖環境保全を実施します。
----------	---	---	--

③外来種の防除による既存植生の保全

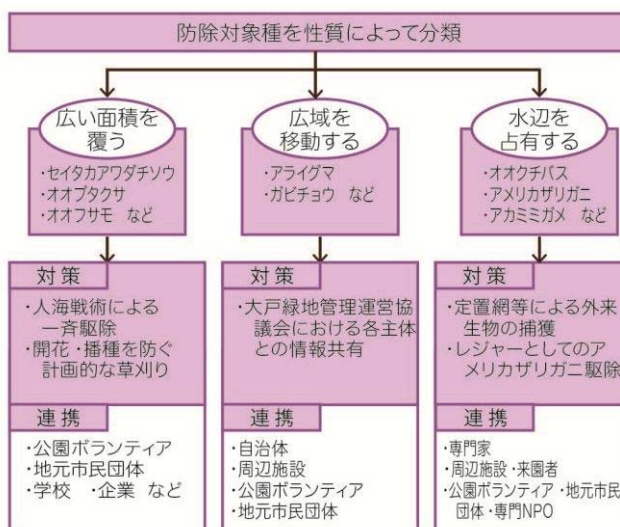
外来種は、既存植生の衰退や在来種の遺伝子汚染を引き起こすことが懸念されます。そこで、右図の通り、防除対象の外来種の性質に応じた対策を実施し、既存植生を保全します。

●生息状況調査と防除対象種の選定

外来種の生息状況調査を実施して、データベースを作成します。その上で侵略性の高さ、特定外来生物、生態系被害防止外来種（環境省、2015）の観点から、防除対象種の選定と対策の整理を行います。

●多様な主体との連携強化

外来種の増減をリアルタイムで把握して迅速に対策できるよう、公園利用者、ボランティア、地元市民団体、専門家など、より多くの主体と協力しながらモニタリングと戦略的な対策を実施していきます。



(iii) 普及啓発・環境教育

既存植生を適切に管理・保全するためには、利用者の理解と協力が必要です。そのため、様々な媒体や機会を通じ、普及啓発と環境教育を継続して実施します（3(1)参照）。

地域の小学校への
環境教育

